

2027 年度

武蔵大学大学院 学生募集要項

人文科学研究科

博士前期課程(修士課程)

欧米文化専攻

日本文化専攻

社会学専攻

博士後期課程

欧米文化専攻

日本文化専攻

社会学専攻

当初予定していた入学試験実施方法等に変更が生じた場合は、本学公式 Web サイトにて随時公表いたしますので、出願にあたっては必ず本学公式 Web サイトにて最新情報をご確認ください。



MUSASHI
UNIVERSITY

目次

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)	4
博士前期課程(修士課程)	5
博士後期課程	6
【博士前期課程(修士課程)】【博士後期課程】 共通事項	7
1. 募集人員	7
2. 入学試験日程	7
3. 入学検定料	8
欧米文化専攻	9
【博士前期課程】	9
【博士後期課程】	14
日本文化専攻	16
【博士前期課程】	16
【博士後期課程】	20
社会学専攻	22
【博士前期課程】	22
【博士後期課程】	27
不正行為について	29
各研究科共通事項	30
【個人情報の取扱い】	31

授業科目・各担当教員の研究については
本学公式 Web サイトに掲載しています。ご参照ください。
www.musashi.ac.jp

大学院入試の出願書類はこちら
本学公式 Web サイト > 大学院 > 大学院入試 > 募集要項・出願書類ダウンロード

※ 出願書類に記載された氏名の漢字を、JIS 第一水準または JIS 第二水準の文字に置き換えることがあります。

出 願 書 類 の 送 付 先

武蔵大学アドミッションセンター

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

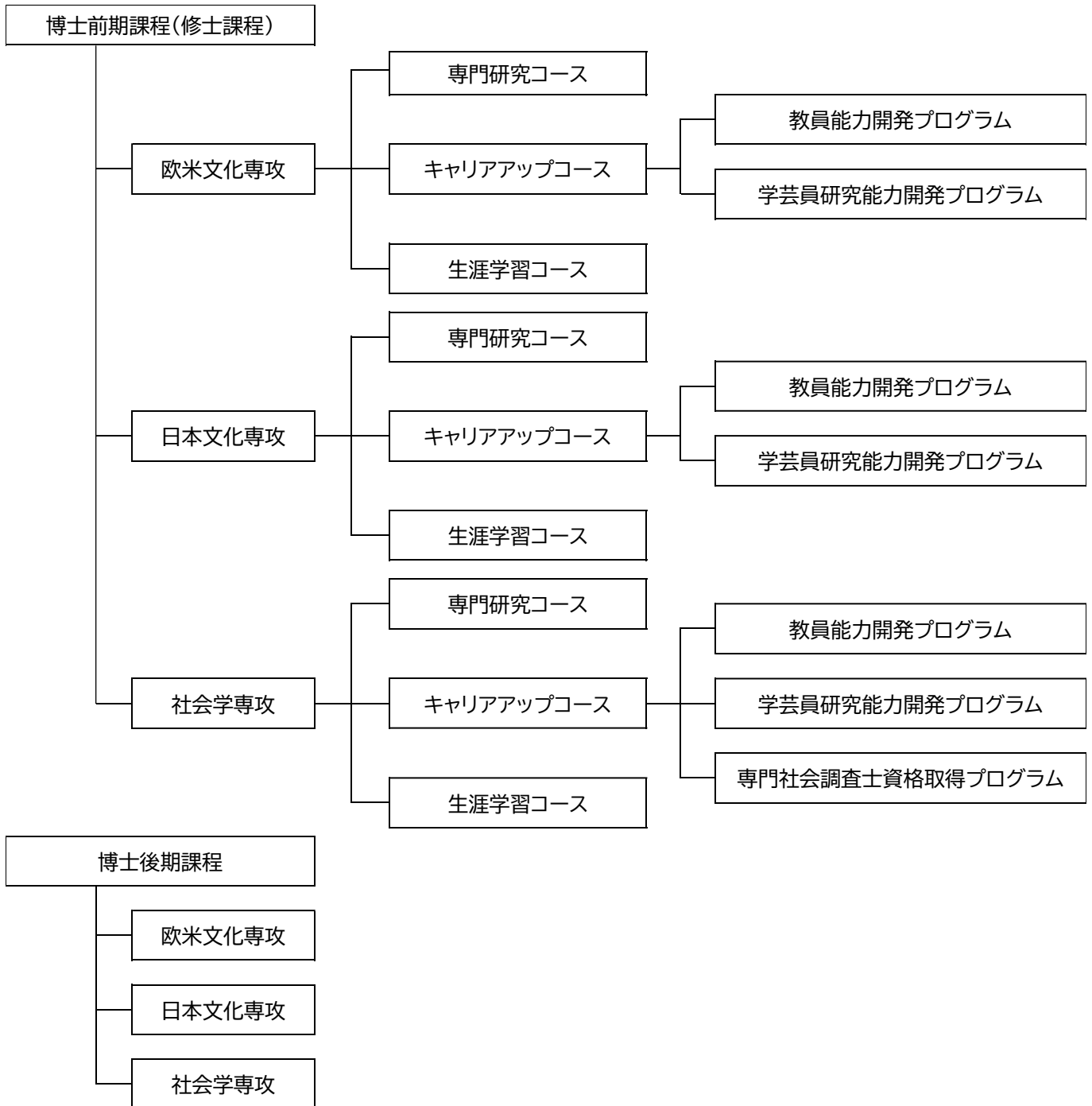
- 本学公式 Web サイトから「出願書類提出用宛先シート」をダウンロードしてください。
- 市販の角形 2 号封筒に必要な書類を入れ、「出願書類提出用宛先シート」を封筒に貼付けし、出願期間内に郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送してください。

感染症に関する注意事項

試験当日、感染症を疑う症状(37.5 度以上の高熱、嘔吐、下痢などの症状)がある場合、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、学校保健安全法の出席停止期間内にあっても担当医が伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

武蔵大学大学院 人文科学研究科



アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

■大学院

武蔵大学大学院は、本学の建学の理念や教育目標、人材養成の目的等を十分に理解し、本大学院で専門的研究を行う意欲のある次のような人を専攻ごとに受け入れます。

【博士前期課程】

1. 学士課程において培われた幅広い知識、深い教養、各専門分野で研究を遂行するに足る外国語運用能力を身につけている人
2. 高度な専門的職業人または自立した研究者になろうとする意欲がある人
3. これまでの社会人生活の中で培った経験をもとに、より専門的な知識や技能を身につけ、社会に貢献しようとする意欲がある人

入学者選抜試験においては、入学後の研究を実り多いものとするができるように、上記項目の知識や能力を評価する。

具体的には、各専攻・コースによって指定される専門分野に関する筆記試験(外国語試験を含む場合がある)により専門的知識や言語運用能力を測り、口述試験により社会的・文化的諸問題に対する関心、さらに思考力、判断力、表現力や主体性等を確認し、総合的に評価する。

【博士後期課程】

1. 博士前期課程などで修得した豊かな専門的知識と高い外国語運用能力を身につけている人
2. 志望分野において自らが主体的に問題を発見し、原典や先行研究の適切な分析にもとづいて、それを解決する能力を持っている人
3. 専門の研究領域において、オリジナリティのある自律的で高度な研究活動ができる能力とその基盤となる学識を得て、博士論文に結実させようとする意欲がある人

入学者選抜試験においては、入学後の研究を実り多いものとするができるように、上記項目の知識や能力を評価する。

具体的には、各専攻によって指定される専門分野に関する筆記試験(外国語試験を含む場合がある)により専門的知識や言語運用能力を測り、口述試験により社会的・文化的諸問題に対する関心、さらに思考力、判断力、表現力や主体性等を確認し、総合的に評価する。

<参考>

- ・建学の理念と教育の基本目標
<https://www.musashi.ac.jp/about/philosophy.html>
- ・グローバル教育方針
<https://www.musashi.ac.jp/about/policy/global.html>
- ・教育研究上の目的
<https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/purpose.html>
- ・ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)
https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/evaluation/diploma_policy.html
- ・カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)
https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/class/curriculum_policy.html
- ・アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)
https://www.musashi.ac.jp/about/disclosure/student/admission_policy.html

博士前期課程(修士課程)

○求める学生像

以下の点を入学者受け入れの基本的な条件とします。

- ・本学の学園建学の「三理想」と全学の「教育の基本目標」を理解し、学士課程において修得した専攻分野、すなわち、言語・文学・歴史・思想・芸術・民俗・比較文化論、社会学理論、社会学方法論、社会学の諸領域およびその関連分野を研究対象とすること
- ・学士課程において培った幅広い知識、深い教養を前提として、本研究科で学ぶに十分な専門的知識と外国語文献読解力、言語運用能力、理論的分析能力等を修得し、主体的に研究に取り組み、社会に貢献しようとする意欲を有していること

(1)欧米文化専攻

英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏を中心とする欧米文化研究、比較文化研究を理論的かつ実践的に研究しようとする人。英語、ドイツ語、もしくはフランス語を中心とする外国語の文献読解力に加え、さまざまな文化現象を独自の視点から調査し分析できる論理的な思考力と言語運用能力をもち、学士課程修了レベルの専門的知識を有する人

(2)日本文化専攻

日本をはじめとする東アジア諸地域の文化研究に高い関心をもち、学術研究の遂行に必要な基礎的知識と文献読解力、言語運用能力を有する人。さらに、日本と東アジア諸地域との比較研究も視野に入れながら、専攻分野に関する資料分析能力および論理的思考力、表現力を備え、自ら発見した課題にもとづき設定したテーマについて、積極的かつ主体的に追究することができる人

(3)社会学専攻

一般的教養、外国語文献読解力、言語運用能力を有するとともに、学士課程修了レベルの社会学・メディア研究の専門的知識、理論的分析能力、データ解析能力、社会的思考力を有している人。さらに、さまざまな社会的、文化的現象を理論的、実証的に分析し、独自の視点から自ら設定したテーマについて積極的、主体的に研究に取り組むことができる人

○コースごとの受入方針

コース	受入方針
専門研究コース	各専攻とも、修士論文を作成する意欲をもっている人を対象とし、各領域の専門的知識や技法等の修得および専門的研究にかなう、学士課程における基本的知識を修得していることを前提としています。
キャリアアップコース	各プログラムともに専門的な職業に就くための各領域の専門的知識や技法等の修得および専門的研究にかなう、学士課程における基本的知識を修得していることを前提としています。
生涯学習コース	専門的な職業に就くため、あるいは文化交流や社会貢献に資する専門的知識の獲得を目的としていることから、各領域における高度な研究能力が必要です。

○入学者選抜方式ごとの評価のポイント

入試方式	評価のポイント
一般入試	<p>専門研究コース: 筆記試験による専門分野に関する専門的知識(学士課程修了レベル)について評価するとともに、口述試験時の質疑応答状況、さらに出願時の志望理由や研究計画の明晰性、妥当性、各専攻が求める外国語資格・検定スコア等について総合的に評価します。</p> <p>キャリアアップコース: 筆記試験による各専攻の専門分野に関する知識について評価するとともに、小論文の内容、口述試験時の質疑応答状況、さらに出願時の志望理由や研究計画の明晰性等について総合的に評価します。</p> <p>生涯学習コース: 筆記試験による各専攻の専門分野に関する知識について評価するとともに、小論文の内容、口述試験時の質疑応答状況、さらに出願時の志望理由や研究計画の明晰性等について総合的に評価します。</p>
社会人入試	豊かな社会経験を有し、勉学意欲旺盛な者を受け入れます。筆記試験による専門分野に関する専門科目、小論文の内容、口述試験時の質疑応答状況、さらに出願時の志望理由や研究計画の明晰性、妥当性等について総合的に評価します。
学内推薦入試	学部教育と大学院教育を有機的に結びつけ、より高い教育効果を上げるために、本学人文学部および社会学部に在籍する卒業年次の学生で大学院進学を希望する学生を受け入れます。学部での成績により専門的知識(学士課程修了レベル)を、出願書類および口述試験により主体性や意欲、出願時の志望理由や研究計画の明晰性、妥当性等を総合的に評価します。

博士後期課程

○求める学生像

博士前期課程において修得した人文学、社会学の諸領域における高い専門能力と外国語文献読解能力、言語運用能力、理論的分析能力、データ解析能力、社会学的思考力等を有し、自立的かつ批判的探究精神をもって、英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏を中心とする欧米文化、比較文化、日本および東アジアの文化、理論的かつ経験的 sociology における高度な専門的研究を行おうとする人を受け入れます。さらに、本課程に3年(6学期)以上在学し、所定の研究指導を受け学位論文を提出する意欲を有していることを受け入れの基本的な条件とします。

(1) 欧米文化専攻

英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏を中心とする欧米文化研究、比較文化研究を理論的かつ実践的に研究しようとする人。英語、ドイツ語、もしくはフランス語を中心とする外国語の文献読解力に加え、修士課程修了レベルの高度な文化研究に関する専門的知識、理論的分析能力、言語運用能力を有している人。さらに、独自の視点から自ら設定した研究テーマについて学位申請論文の作成に計画性をもって、自立的、主体的に取り組むことができる人

(2) 日本文化専攻

日本をはじめとする東アジア諸地域の文化研究に強い関心を持ち、博士前期課程修了レベルの専門的知識と文献読解力、言語運用能力を有する人。さらに、日本と東アジア諸地域との比較研究も視野に入れながら、専攻分野に関する高度な資料分析能力および論理的思考力、表現力を備え、自ら発見した課題をふまえて独自に設定したテーマのもと、独創的な学位申請論文の作成に計画的かつ自立的に取り組むことができる人

(3) 社会学専攻

一般的教養、外国語文献読解力、言語運用能力を有するとともに、修士課程修了レベルの高度な社会学・メディア研究に関する専門的知識、理論的分析能力、データ解析能力、社会学的思考力等を有している人。さらに、独自の視点から自ら設定した研究テーマについて学位論文の作成に計画性をもって、自立的、主体的に取り組むことができる人

○受入方針および評価のポイント

修士の学位または専門職学位を有するとともに、専門の研究領域において自立した高度な研究を遂行する能力を有するかを確認するため、専門科目に関する筆記試験および口述試験を実施するとともに、修士論文(それに相当するもの)および志望理由書、研究計画書、学業成績等について総合的に評価します。

【博士前期課程(修士課程)】【博士後期課程】 共通事項

1. 募集人員

専攻	博士前期課程(修士課程)			博士後期課程
	I 期 学内推薦入試*	II 期		
		一般入試	社会人入試	
欧米文化	若干名	4名	4名	4名
日本文化	若干名	4名	4名	4名
社会学	若干名	4名	4名	4名

※試験の成績によっては、募集人員に達しない場合でも入学を許可しないことがあります。

2. 入学試験日程

	博士前期課程(修士課程) I 期入試(学内推薦入試)*	博士前期課程(修士課程) II 期入試(一般入試・社会人入試・ 博士後期課程)
入学資格審査	—	2026年11月12日(木)郵送必着
出願期間	2026年9月4日(金) ～9月15日(火) (締切日消印有効)	2027年1月7日(木) ～1月15日(金) (締切日消印有効)
試験日	2026年10月20日(火)	2027年2月20日(土)
集合時間等	・試験当日の集合時間と試験時間は、受験票送付時にお知らせいたします。 ・受験票は出願手続完了後に郵送します。試験日3日前までに受験票が届かない場合は、 アドミッションセンターにお問い合わせください。(Tel.03-5984-3715)	
試験会場	本学	
可否通知	2026年10月23日(金)発送	2027年2月24日(水)発送
入学手続期間	1次	2026年10月26日(月) ～10月30日(金) (消印有効)
	2次	2027年2月24日(水)～3月11日(木) (消印有効)

*博士前期課程(修士課程) I 期入試(学内推薦入試)の出願資格、出願書類、学力検査等の内容、可否判定の方法及び基準等は、本冊子に掲載していません。詳細は、別冊子「I 期学内推薦入試募集要項」を参照してください。その他の項目(入学検定料の納付方法、研究指導教授の一覧、入学手続等)は本冊子の記載に従い手続してください。

3. 入学検定料

入学検定料	35,000 円
-------	----------

(1) 入学検定料の振込には、「振込依頼書(D票)」「振込金受領書(E票)」が必要です。本学公式 Web サイトからダウンロードできますが、印刷が不鮮明な場合は金融機関で受け付けられない場合があります。

その際は、アドミッションセンター(E-mail:nyushi@musashi.ac.jp)に連絡して取得してください。

(2) 入学検定料は「振込依頼書(D票)」を使って、出願期間内に金融機関(都市銀行・地方銀行・信託銀行・信用金庫・信用組合・農協)から電信扱いで振込してください。

(3) ゆうちょ銀行及び郵便局からの振込みはできません。また、ATM(現金自動預入支払機)は使用しないでください。

(4) 振込み後、「振込金受領書(E票)」に取扱銀行の収納印があることを確認してください。

*「振込金受領書(E票)」は領収書となるので志願者本人が保管しておいてください。

(5) 入学検定料を納付しただけでは、出願完了となりません。出願を完了するには、入学検定料の納付、出願書類の郵送など、必要な手続きを指定の期間に不備なく行うことが必要です。また、一旦納付された入学検定料は、原則として返還しません。ただし、次の①～④の場合で、返還請求締切日(I 期入試は 10 月 30 日(金)、II 期入試 2 月 26 日(金))までに武蔵大学アドミッションセンターに請求連絡があった場合のみ入学検定料を返還します。なお、決済手数料は返還対象外です。入学検定料返還時に発生する振込手数料はご負担いただきます。

- ① 入学検定料を納付したが、出願書類を提出しなかった場合
- ② 入学検定料を納付し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合(出願資格未充足、不備、遅延など)
- ③ 納付すべき入学検定料より過剰に納付した場合
- ④ その他、大学が特別に認めた場合

<入学検定料の返還請求方法>

武蔵大学アドミッションセンターへの請求連絡は、下記内容をメールで連絡してください。期限を過ぎた返還請求には応じられない場合があります。

宛先:nyushi@musashi.ac.jp

件名:入学検定料返還請求(大学院入試【人文科学研究科】、氏名)

本文:「返還請求金額」及び「経緯・理由等」をご記載ください

欧米文化専攻

【博士前期課程】

1. 出願資格 一般入試と社会人入試があります。出願する入試の各項目を確認してください。

一般入試(専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース)

次の【A】および【B】【C】【D】の条件に該当する者。【A】は必須、【B】【C】【D】は該当する場合のみ。

【A】次のいずれかに該当する者、又は 2027 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者
 ※出願資格(9)に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、必要書類をそろえて、入学資格審査の申請を行ってください。
 必要書類:①入学志願票(A票)(写し)、②志望理由書(写し)、③最終出身学校の卒業証明書および④最終出身学校の成績証明書
 *③④は日本語又は英語で作成されたものとする。それ以外の言語の場合は、翻訳文(日本語又は英語)を添付すること。
 申請期日:2026 年 11 月 12 日(木)郵送必着

【B】専門研究コースに出願する者は、以下の英語・ドイツ語・フランス語のいずれかの外国語資格・検定試験のスコアを提出できること。

英語資格・検定試験の名称	備考
ケンブリッジ英語検定	Linguaskill の場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。
実用英語技能検定 CSE	受検した級に合格していない場合でも出願可能です。英検 S-CBT、英検 S-Interview も利用可能です。
GTEC	オフィシャルスコアに限ります。検定版、CBT タイプが利用可能です。
IELTS	オーバーオール・バンド・スコア(アカデミック・モジュールに限ります。)
TEAP	
TOEFL iBT®	団体受験のスコア及び TOEFL iBT® Home Edition は利用できません。Test Date スコアのみ利用可能です。My Best™スコアは利用できません。
TOEIC® L&R/S&W	IP テストのスコアは利用できません。

※いずれの試験においても 4 技能合計のスコアです。

※異なる実施回の4技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、TOEIC® は L&R と S&W の実施回が異なっても構いません(LとR、SとWは、同一実施回のスコアを提出してください)。また、実用英語技能検定の一次試験免除者は、二次試験受験時に使用した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組合せを認めます。

ドイツ語資格・検定試験の名称	フランス語資格・検定試験の名称
ドイツ語技能検定試験、ゲーテ・ドイツ語検定試験、オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験	実用フランス語技能検定試験、DELF・DALF、TCF、TEF

【C】特定の担当指導教授*のもと、英語での指導及び英語で論文を執筆することを希望する場合、事前相談の上、「4 技能すべてにおいて IELTS(Academic)6.0 相当の合格証書、スコア証明書」を提出できること。

***担当指導教授**: ジェイソン・ホロウェル、ブライアン・マサハート、ポール・ミンフォード、地村 孝充

【D】キャリアアップコースに出願する者は、プログラムごとに指定された下記の要件を満たすこと。

プログラムの名称	要件
教員能力開発プログラム	教員免許状(第一種)を有していること、または学部卒業時に取得予定であることが望まれます。
学芸員研究能力開発プログラム	学芸員資格を有していること、または学部卒業時に取得予定であることが望まれます。

社会人入試(専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース)

次の【A】および【B】【C】の条件に該当する者。【A】は必須、【B】【C】は該当する場合のみ。

【A】大学卒業後2年以上経過した者(2025年3月31日以前に卒業した者)

【B】特定の担当指導教授*のもと、英語での指導及び英語で論文を執筆することを希望する場合、事前相談の上、「4技能すべてにおいてIELTS(Academic)6.0相当の合格証書、スコア証明書」を提出できること。

***担当指導教授**: ジェイソン・ホロウェル、ブライアン・マサハート、ポール・ミンフォード、地村 孝充

【C】キャリアアップコースに出願する者は、プログラムごとに指定された下記の要件を満たすこと。

プログラムの名称	要件
教員能力開発プログラム	教員免許状(第一種)を有していること、または大学院入学までに取得予定であることが望まれます。
学芸員研究能力開発プログラム	学芸員資格を有していること、または大学院入学までに取得予定であることが望まれます。

2. 出願手続

(1) 出願書類

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類(本学所定用紙)」をダウンロードしてください。
- ・日本語又は英語で作成されたものとし、それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。
- ・長期履修学生制度・早期修了制度を希望する志願者は、後述の【各研究科共通事項】にある各制度に関する内容をご覧ください。
- ・入学志願票(A 票)の「希望指導教授」欄には「研究指導教授」一覧を参照し、入学後に希望する研究指導教授を第二希望まで記入してください(第二希望は空欄でも可)。なお、指導教授の希望について、次の点にご注意ください。
- ・以下の特定の担当指導教授は、入学後の研究指導が英語で行われ、論文を英語で執筆する必要があります。希望する場合は、事前相談(問合せ先: アドミッションセンター)のうえ、**英語資格や特定の出願書類が必要です**。一般入試: 出願資格【C】/ 社会人入試: 出願資格【B】及び後述の出願書類欄を確認してください。

***担当指導教授**: ジェイソン・ホロウェル、ブライアン・マサハート、ポール・ミンフォード、地村 孝充

- ・キャリアアップコース学芸員研究能力開発プログラムを希望する場合の指導教授については、事前にアドミッションセンターにお問い合わせください。

(2) 出願書類の郵送方法

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類提出用宛先シート」をダウンロードしてください。
- ・市販の角形 2 号封筒に必要な書類を入れ、「出願書類提出用宛先シート」を封筒に貼付けし、出願期間内に郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送してください。

出願書類一覧

【一般入試】【社会人入試】共通

	出願書類等	摘 要
①	入学志願票(A票) 対照票(B票) 受験票(C票)	<ul style="list-style-type: none"> ・【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。 ・顔写真(カラー)のサイズは縦4cm×横3cmとし、出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身・脱帽・無背景のもの(アプリ等での加工・修正不可、試験当日に本人確認ができるもの)に限ります。写真の裏面に氏名を明記のうえ、貼り付けてください。 ・希望指導教授は、後述の「研究指導教授」一覧を参照し記入してください。 ・現住所、連絡先は、すべて日本国内の住所、電話番号を記入してください。 ・入学志願票(A票)の学歴・職歴欄が足りない場合は、別紙(書式自由)に続けて記入してください。
②	成績証明書	出身大学で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
③	卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
④	卒業論文又はそれに準ずるもの(制作物、研究レポート等)の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された卒業論文等の写しは返却しません。 ・原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。 ※卒業論文に準ずるもの対象についての詳細は、アドミッションセンターへご連絡ください。
⑤	志望理由書	【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。
⑥	研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・【一般入試】研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を1,000字程度で作成してください。A4判(書式自由)で片面印刷してください。 ・【社会人入試】研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を2,000字程度で作成してください。A4判(書式自由)で片面印刷してください。
⑦	市区町村発行の住民票の写し(コピー不可)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の者のみ提出してください。 ・在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前3ヶ月以内に発行されたもの(本人のもののみ)を提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・受験の為、短期ビザ等で来日している場合は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
⑧	宛名カード	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・4ヶ所とも同じ住所を記入してください(日本国内の住所に限ります)。

【一般入試】専門研究コースに出願する者は、以下の書類を提出してください。

⑨	外国語資格・検定試験の合格証書、スコア証明書等の写し	出願資格[B]に記載された外国語資格・検定試験のスコア証明書
---	----------------------------	--------------------------------

【一般入試】【社会人入試】キャリアアップコースに出願する者は、以下の書類を提出してください。

⑩	資格証明書の写し	出願するプログラムの資格証明書
---	----------	-----------------

【一般入試】【社会人入試】

*担当指導教授: ジェyson・ホロウエル、ブライアン・マサハート、ポール・ミンフォード、地村 孝充を希望する場合は、事前相談のうえ、④⑤⑥⑨の書類を以下に代えて提出して下さい。

④	卒業論文又はそれに準ずるもの(制作物、研究レポート等)の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された卒業論文等の写しは返却しません。 ・原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。 ・英語以外で執筆している場合は英語で要旨(300words)を添付してください。また、その場合には英語で執筆した論文等(2,000words)を少なくとも1本追加で提出してください。
⑤	志望理由書	【本研究科所定用紙】を使用し、英語で作成してください。
⑥	研究計画書	研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を英語(400 words)で作成してください。A4判(書式自由)で片面印刷してください。
⑨	英語資格・検定試験の合格証書、スコア証明書等の写し	4技能すべてにおいてIELTS(Academic)6.0以上に相当するスコアを提出してください。

3. 学力検査等の内容

- ・各コースにおいて、出願書類にもとづく書類審査に加え以下の試験により選考します。辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません。
- ・特定の担当指導教授(ジェイソン・ホロウエル、プライアン・マサハート、ポール・ミンフォード、地村 孝充)のもと、英語での指導及び英語で論文を執筆することを希望する場合、口述試験は英語で実施します。

【一般入試】専門研究コース

筆記試験	専門科目 9:00 ~ 11:00	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
	外国語科目 (試験は実施しません)	本研究科が指定する外国語資格・検定試験のスコアを、本研究科が定めた基準により得点化します。
口述試験	13:30~	志望専攻に関連した内容について出題します。主に日本語で実施します。

【一般入試】キャリアアップコース、生涯学習コース

【社会人入試】専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース

筆記試験	専門科目 9:00 ~ 11:00	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
	小論文 11:20 ~ 12:10	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
口述試験	13:30~	志望専攻に関連した内容について出題します。主に日本語で実施します。

4. 合否判定の方法及び基準

各コースにおいて、出願書類にもとづく書類審査、筆記試験及び口述試験について、以下の比率で評価を行い、総合的に合否を判定します。

【一般入試】専門研究コース

書類審査	成績証明書、卒業証明書(見込含む)、卒業論文またはそれに準ずるもの、志望理由書、研究計画書:10%、 外国語資格・検定試験のスコア:20%
筆記試験、口述試験	筆記試験:30%、口述試験:40%

【一般入試】キャリアアップコース、生涯学習コース

【社会人入試】専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース

書類審査	成績証明書、卒業証明書(見込含む)、卒業論文またはそれに準ずるもの、志望理由書、研究計画書:10%
筆記試験、口述試験	筆記試験:40%、口述試験:50%

5. 合否通知

受験者全員に郵便で本人宛に発送します。発送日より3日経過しても届かない場合は、アドミッションセンターへ問い合わせてください。
なお、電話・メール等での選考結果の照会には応じられません。

6. 研究指導教授

- (1)入学志願票(A票)の「希望指導教授」として選べる教員は以下のとおりです。ただし、2027年度に担当できない場合もあります。
(2)教員の研究領域の詳細、担当科目・研究指導の内容については、『大学院案内 2027』をご覧ください。

専攻	担当者		研究領域
欧米文化	教授	踊 共二	西洋史(ヨーロッパ中世・近世史)、日欧交流史
	教授	桂 元嗣	中欧文化論、ドイツ文学
	教授	北村 紗衣	シェイクスピアを中心とする近世イングランド演劇
	教授	木元 豊	フランス文学
	教授	黒田 享	ドイツ語学、北欧語学、比較言語学、言語政策
	教授	小森 謙一郎	ヨーロッパ思想史・哲学
	教授	小森 真樹	ミュージアム研究、アメリカ文化研究
	教授	佐藤 繭香	イギリス近現代史、ジェンダー史
	教授	嶋内 博愛	文化人類学、ドイツ民族学、伝承研究
	教授	地村 孝充*	World Heritage and tourism
	准教授	パトリック・シュウェマー	室町末期江戸初期・大航海時代日本の表象文化
	准教授	田瀬 望	フランスを中心とする16世紀から19世紀のヨーロッパ・地中海世界の歴史、フリーメイソン研究
	教授	谷 憲治	応用言語学、語彙分析、英語の歴史
	教授	土屋 武久	応用言語学、英語教育
	教授	角田 俊男	英語圏の思想・文化史、およびその古代や他地域との関連
	教授	ジェイソン・ホロウェル*	Linguistics, First and Second Language Acquisition, Bilingualism, Language Education
	准教授	ブライアン・マサハート*	Japan-US relations, Comparative politics.
	准教授	松原 薫	音楽学、美学、バッハを中心とする西洋音楽研究
	教授	ポール・ミンフォード*	British and Postcolonial Literatures
	教授	望月 ゆか	フランス近世宗教思想、キリスト教史

*特定の担当指導教授(ジェイソン・ホロウェル、ブライアン・マサハート、ポール・ミンフォード、地村 孝充)の研究指導は英語で行われます。また論文を英語で執筆する必要があります。

※学芸員研究能力開発プログラムに出願する場合は、指導教授について、アドミッションセンターにお問合せください。

※教員能力開発プログラム(専攻横断科目)に出願する場合は、入学志願票(A票)の「希望指導教授」欄へは以下の一覧から選択し記入してください。本プログラムの場合、原則として専攻の運営委員が副指導教授となります。

教員能力 開発プログラム (専攻横断科目)	担当者(教職課程教員)		研究領域
	教授	大内 裕和	教育社会学・教育制度論
	教授	金井 香里	教育人類学、異文化間教育、教師教育学

【博士後期課程】

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者、又は 2027 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、上記(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者

※出願資格(7)、(8)に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、必要書類をそろえて、入学資格審査の申請を行ってください。

必要書類：①入学志願票(A票)(写し)、②志望理由書(写し)、③最終出身学校の卒業証明書および④最終出身学校の成績証明書
*③④は日本語又は英語で作成されたものとする。それ以外の言語の場合は、翻訳文(日本語又は英語)を添付すること

申請期日：2026 年 11 月 12 日(木) 郵送必着

2. 出願手続

(1) 出願書類

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類(本学所定用紙)」をダウンロードしてください。
- ・日本語又は英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。
- ・入学志願票(A 票)の「希望指導教授」欄には「研究指導教授」一覧を参照し、入学後に希望する研究指導教授を第二希望まで記入してください(第二希望は空欄でも可)。

(2) 出願書類の郵送方法

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類提出用宛先シート」をダウンロードしてください。
- ・市販の角形 2 号封筒に必要な書類を入れ、「出願書類提出用宛先シート」を封筒に貼付けし、出願期間内に郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送してください。

出願書類一覧

	出願書類等	摘 要
①	入学志願票(A 票) 対照票(B 票) 受験票(C 票)	<ul style="list-style-type: none"> ・【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。 ・顔写真(カラー)のサイズは縦 4cm×横 3cm とし、出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身・脱帽・無背景のもの(アプリ等での加工・修正不可、試験当日に本人確認ができるもの)に限ります。写真の裏面に氏名を明記のうえ、貼り付けてください。 ・希望指導教授は、後述の「研究指導教授」一覧を参照し記入してください。 ・現住所、連絡先は、すべて日本国内の住所、電話番号を記入してください。 ・入学志願票(A票)の学歴・職歴欄が足りない場合は、別紙(書式自由)に続けて記入してください。
②	成績証明書	出身大学院で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
③	修了証明書又は修了見込証明書	出身大学院で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
④	修士論文の写し又はそれに代わるものの写し	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された修士論文の写しは返却しません。 ・原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。 ※修士論文に代わるものの詳細はアドミッションセンターへご連絡ください。
⑤	志望理由書	【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。
⑥	研究計画書	研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を 2,000 字程度で作成してください。A4判(書式自由)で片面印刷してください。
⑦	市区町村発行の住民票の写し(コピー不可)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の者のみ提出してください。 ・在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前3ヶ月以内に発行されたもの(本人のもの)のみを提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・受験の為、短期ビザ等で来日している場合は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
⑧	宛名カード	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・4ヶ所とも同じ住所を記入してください(日本国内の住所に限ります)。

3. 学力検査等の内容

出願書類にもとづく書類審査及び試験(筆記試験・口述試験)により選考します。

筆記試験	専門科目 9:00 ~ 11:00	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
口述試験	13:30~	志望専攻に関連した内容について出題します。主に日本語で実施します。

4. 合否判定の方法及び基準

出願書類にもとづく書類審査、筆記試験及び口述試験について、以下の比率で評価を行い、総合的に合否を判定します。

書類審査	成績証明書、修了証明書(見込含む)、修士論文またはそれに準ずるもの、志望理由書、研究計画書:30%
筆記試験、口述試験	筆記試験:30%、口述試験:40%

5. 合否通知

受験者全員に郵便で本人宛に発送します。発送日より3日経過しても届かない場合は、アドミッションセンターへ問い合わせてください。
なお、電話・メール等での選考結果の照会には応じられません。

6. 研究指導教授

- (1) 入学志願票(A票)の「希望指導教授」として選べる教員は以下のとおりです。ただし、2027年度に担当できない場合もあります。
(2) 教員の研究領域の詳細、担当科目・研究指導の内容については、『大学院案内 2027』をご覧ください。

専攻	担当者		研究領域
欧米文化	教授	踊 共二	西洋史(ヨーロッパ中世・近世史)、日欧交流史
	教授	桂 元嗣	中欧文化論、ドイツ文学
	教授	北村 紗衣	シェイクスピアを中心とする近世イングランド演劇
	教授	木元 豊	フランス文学
	教授	黒田 享	ドイツ語学、北欧語学、比較言語学、言語政策
	教授	小森 謙一郎	ヨーロッパ思想史・哲学
	教授	小森 真樹	ミュージアム研究、アメリカ文化研究
	教授	嶋内 博愛	文化人類学、ドイツ民族学、伝承研究
	教授	地村 孝充*	World Heritage and tourism
	教授	谷 憲治	応用言語学、語彙分析、英語の歴史
	教授	角田 俊男	英語圏の思想・文化史、およびその古代や他地域との関連
	教授	望月 ゆか	フランス近世宗教思想、キリスト教史

* 地村孝充教授の研究指導は英語で行われます。また指導学生は論文を英語で執筆する必要があります。

日本文化専攻

【博士前期課程】

1. 出願資格 一般入試と社会人入試があります。出願する入試の各項目を確認してください。

一般入試(専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース)

次の【A】および【B】【C】の条件に該当する者。【A】は必須、【B】【C】は該当する場合のみ。

【A】次のいずれかに該当する者、又は 2027 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者
※出願資格(9)に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、必要書類をそろえて、入学資格審査の申請を行ってください。
必要書類:①入学志願票(A票)(写し)、②志望理由書(写し)、③最終出身学校の卒業証明書および④最終出身学校の成績証明書
※③④は日本語又は英語で作成されたものとする。それ以外の言語の場合は、翻訳文(日本語又は英語)を添付すること。
申請期日:2026 年 11 月 12 日(木)郵送必着

【B】専門研究コースに出願する者は、以下のいずれかの英語の外国語資格・検定試験のスコアを提出できること。ただし、外国において 12 年(日本において高等学校卒業までに相当する期間)以上の学校教育課程を修了した外国人留学生は、英語の外国語資格・検定試験のスコアに代えて日本語資格・検定試験のスコアを提出すること(英語の外国語資格・検定試験のスコアを提出することが可能な者は合わせて提出しても良い。その場合、本学基準で換算して点数の高い方を得点化する)。

英語資格・検定試験の名称	備考
ケンブリッジ英語検定	Linguaskill の場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。
実用英語技能検定 CSE	受検した級に合格していない場合でも出願可能です。英検 S-CBT、英検 S-Interview も利用可能です。
GTEC	オフィシャルスコアに限ります。検定版、CBT タイプが利用可能です。
IELTS	オーバーオール・バンド・スコア(アカデミック・モジュールに限ります。)
TEAP	
TOEFL iBT®	団体受験のスコア及び TOEFL iBT® Home Edition は利用できません。Test Date スコアのみ利用可能です。My Best™ スコアは利用できません。
TOEIC® L&R/S&W	IP テストのスコアは利用できません。

※いずれの試験においても 4 技能合計のスコアです。

※異なる実施回の 4 技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、TOEIC® は L&R と S&W の実施回が異なっても構いません(LとR、SとWは、同一実施回のスコアを提出してください)。また、実用英語技能検定の一次試験免除者は、二次試験受験時に使用した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組合せを認めます。

日本語資格・検定試験の名称
日本語能力試験、日本留学試験「日本語」、J.TEST 実用日本語検定

【C】キャリアアップコースに出願する者は、プログラムごとに指定された下記の要件を満たすこと

プログラムの名称	要件
教員能力開発プログラム	教員免許状(第一種)を有していること、または学部卒業時に取得予定であることが望まれます。
学芸員研究能力開発プログラム	学芸員資格を有していること、または学部卒業時に取得予定であることが望まれます。

社会人入試(専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース)

次の【A】および【B】の条件に該当する者。【A】は必須、【B】は該当する場合のみ。

【A】大学卒業後2年以上経過した者(2025年3月31日以前に卒業した者)

【B】キャリアアップコースに出願する者は、プログラムごとに指定された下記の要件を満たすこと

プログラムの名称	要件
教員能力開発プログラム	教員免許状(第一種)を有していること、または大学院入学までに取得予定であることが望まれます。
学芸員研究能力開発プログラム	学芸員資格を有していること、または大学院入学までに取得予定であることが望まれます。

2. 出願手続

(1) 出願書類

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類(本学所定用紙)」をダウンロードしてください。
- ・日本語又は英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。
- ・長期履修学生制度・早期修了制度を希望する志願者は、後述の【各研究科共通事項】にある各制度に関する内容をご覧ください。
- ・入学志願票(A票)の「希望指導教授」欄には「研究指導教授」一覧を参照し、入学後に希望する研究指導教授を第二希望まで記入してください(第二希望は空欄でも可)。なお、キャリアアップコース学芸員研究能力開発プログラムを希望する場合の指導教授については、事前にアドミッションセンターにお問い合わせください。

(2) 出願書類の郵送方法

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類提出用宛先シート」をダウンロードしてください。
- ・市販の角形 2 号封筒に必要な書類を入れ、「出願書類提出用宛先シート」を封筒に貼付けし、出願期間内に郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送してください。

出願書類一覧

【一般入試】【社会人入試】共通

	出願書類等	摘要
①	入学志願票(A票) 対照票(B票) 受験票(C票)	<ul style="list-style-type: none"> ・【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。 ・顔写真(カラー)のサイズは縦 4cm×横 3cm とし、出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身・脱帽・無背景のもの(アプリ等での加工・修正不可、試験当日に本人確認ができるもの)に限ります。写真の裏面に氏名を明記のうえ、貼り付けてください。 ・希望指導教授は、後述の「研究指導教授」一覧を参照し記入してください。 ・現住所、連絡先は、すべて日本国内の住所、電話番号を記入してください。 ・入学志願票(A票)の学歴・職歴欄が足りない場合は、別紙(書式自由)に続けて記入してください。
②	成績証明書	出身大学で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
③	卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
④	卒業論文又はそれに準ずるもの(制作物、研究レポート等)の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された卒業論文等の写しは返却しません。 ・原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。 ※卒業論文に準ずるものの対象についての詳細は、アドミッションセンターへご連絡ください。
⑤	志望理由書	【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。
⑥	研究計画書	<ul style="list-style-type: none"> ・【一般入試】研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を 1,000 字程度で作成してください。A4判(書式自由)で片面印刷してください。 ・【社会人入試】研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を 2,000 字程度で作成してください。A4判(書式自由)で片面印刷してください。
⑦	市区町村発行の住民票の写し(コピー不可)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の者のみ提出してください。 ・在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前3ヶ月以内に発行されたもの(本人のもの)のみを提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・受験の為、短期ビザ等で来日している場合は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
⑧	宛名カード	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・4ヶ所とも同じ住所を記入してください(日本国内の住所に限ります)。

※次ページに続きます

【一般入試】専門研究コースに出願する者は、以下の書類を提出してください。

⑨	外国語資格・検定試験の合格証書、 スコア証明書等の写し	出願資格【B】に記載された外国語資格・検定試験のスコア証明書
---	--------------------------------	--------------------------------

【一般入試】【社会人入試】キャリアアップコースに出願する者は、以下の書類を提出してください。

⑩	資格証明書の写し	出願するプログラムの資格証明書
---	----------	-----------------

3. 学力検査等の内容

各コースにおいて、出願書類にもとづく書類審査に加え以下の試験により選考します。辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません。

【一般入試】専門研究コース

筆記試験	専門科目 9:00 ~ 11:00	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
	外国語科目 (試験は実施しません)	本研究科が指定する外国語資格・検定試験のスコアを、本研究科が定めた基準により得点化します。
口述試験	13:30~	志望専攻に関連した内容について出題します。主に日本語で実施します。

【一般入試】キャリアアップコース、生涯学習コース

【社会人入試】専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース

筆記試験	専門科目 9:00 ~ 11:00	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
	小論文 11:20 ~ 12:10	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
口述試験	13:30~	志望専攻に関連した内容について出題します。主に日本語で実施します。

4. 合否判定の方法及び基準

各コースにおいて、出願書類にもとづく書類審査、筆記試験及び口述試験について、以下の比率で評価を行い、総合的に合否を判定します。

【一般入試】専門研究コース

書類審査	成績証明書、卒業証明書(見込含む)、卒業論文またはそれに準ずるもの、志望理由書、研究計画書:10%、 外国語資格・検定試験のスコア:10%
筆記試験、口述試験	筆記試験:30%、口述試験:50%

【一般入試】キャリアアップコース、生涯学習コース

【社会人入試】専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース

書類審査	成績証明書、卒業証明書(見込含む)、卒業論文またはそれに準ずるもの、志望理由書、研究計画書:10%
筆記試験、口述試験	筆記試験:40%、口述試験:50%

5. 合否通知

受験者全員に郵便で本人宛に発送します。発送日より3日経過しても届かない場合は、アドミッションセンターへ問い合わせてください。
なお、電話・メール等での選考結果の照会には応じられません。

6. 研究指導教授

(1)入学志願票(A票)の「希望指導教授」として選べる教員は以下のとおりです。ただし、2027年度に担当できない場合もあります。
(2)教員の研究領域の詳細、担当科目・研究指導の内容については、『大学院案内 2027』をご覧ください。

専攻	担当者		研究領域
日本文化	教授	石井 龍太	琉球諸島の中近世考古学、地域キャラクターコンテンツ
	教授	漆澤 その子	日本の近現代における芸能社会史
	教授	黒岩 高	東洋史、中国ムスリムの社会史、文化史
	教授	戸塚 学	日本近現代文学
	准教授	丹羽 みさと	日本近世・近代文学
	教授	福田 武史	日本上代文学、比較文学、幼学書・古典学の影響
	教授	福原 敏男	日本民俗学、日本文化史、日本祭礼史、日本風流史
	教授	水口 拓寿	中国思想史
	教授	桃崎 有一郎	日本の古代・中世史
	教授	渡辺 直紀	韓国文学・文化、比較文学

※学芸員研究能力開発プログラムに出願する場合は、指導教授について、アドミッションセンターにお問合せください。

※教員能力開発プログラム(専攻横断科目)に出願する場合は、入学志願票(A票)の「希望指導教授」欄へは以下の一覧から選択し記入してください。
本プログラムの場合、原則として専攻の運営委員が副指導教授となります。

教員能力 開発プログラム (専攻横断科目)	担当者(教職課程教員)		研究領域
	教授	大内 裕和	教育社会学・教育制度論
	教授	金井 香里	教育人類学、異文化間教育、教師教育学

【博士後期課程】

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者、又は 2027 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、上記(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者

※出願資格(7)、(8)に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、必要書類をそろえて、入学資格審査の申請を行ってください。

必要書類: ①入学志願票(A票)(写し)、②志望理由書(写し)、③最終出身学校の卒業証明書および④最終出身学校の成績証明書

*③④は日本語又は英語で作成されたものとする。それ以外の言語の場合は、翻訳文(日本語又は英語)を添付すること

申請期日: 2026 年 11 月 12 日(木) 郵送必着

2. 出願手続

(1) 出願書類

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類(本学所定用紙)」をダウンロードしてください。
- ・日本語又は英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。
- ・入学志願票(A 票)の「希望指導教授」欄には「研究指導教授」一覧を参照し、入学後に希望する研究指導教授を第二希望まで記入してください(第二希望は空欄でも可)。

(2) 出願書類の郵送方法

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類提出用宛先シート」をダウンロードしてください。
- ・市販の角形 2 号封筒に必要な書類を入れ、「出願書類提出用宛先シート」を封筒に貼付けし、出願期間内に郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送してください。

出願書類一覧

	出願書類等	摘要
①	入学志願票(A 票) 対照票(B 票) 受験票(C 票)	<ul style="list-style-type: none"> ・【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。 ・顔写真(カラー)のサイズは縦 4cm×横 3cm とし、出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身・脱帽・無背景のもの(アプリ等での加工・修正不可、試験当日に本人確認ができるもの)に限ります。写真の裏面に氏名を明記のうえ、貼り付けてください。 ・希望指導教授は、後述の「研究指導教授」一覧を参照し記入してください。 ・現住所、連絡先は、すべて日本国内の住所、電話番号を記入してください。 ・入学志願票(A票)の学歴・職歴欄が足りない場合は、別紙(書式自由)に続けて記入してください。
②	成績証明書	出身大学院で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
③	修了証明書又は修了見込証明書	出身大学院で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
④	修士論文の写し又はそれに代わるものの写し	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された修士論文の写しは返却しません。 ・原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。 ※修士論文に代わるものの詳細はアドミッションセンターへご連絡ください。
⑤	志望理由書	【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。
⑥	研究計画書	研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を 2,000 字程度で作成してください。A4判(書式自由)で片面印刷してください。
⑦	市区町村発行の住民票の写し(コピー不可)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の者のみ提出してください。 ・在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前3ヶ月以内に発行されたもの(本人のもの)のみを提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・受験の為、短期ビザ等で来日している場合は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
⑧	宛名カード	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・4ヶ所とも同じ住所を記入してください(日本国内の住所に限ります)。

3. 学力検査等の内容

出願書類にもとづく書類審査及び試験(筆記試験・口述試験)により選考します。

筆記試験	専門科目 9:00 ~ 11:00	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
口述試験	13:30~	志望専攻に関連した内容について出題します。日本語で実施します。

4. 合否判定の方法及び基準

出願書類にもとづく書類審査、筆記試験及び口述試験について、以下の比率で評価を行い、総合的に合否を判定します。

書類審査	成績証明書、修了証明書(見込含む)、修士論文またはそれに準ずるもの、志望理由書、研究計画書:30%
筆記試験、口述試験	筆記試験:30%、口述試験:40%

5. 合否通知

受験者全員に郵便で本人宛に発送します。発送日より3日経過しても届かない場合は、アドミッションセンターへ問い合わせてください。
なお、電話・メール等での選考結果の照会には応じられません。

6. 研究指導教授

- (1) 入学志願票(A票)の「希望指導教授」として選べる教員は以下のとおりです。ただし、2027年度に担当できない場合もあります。
(2) 教員の研究領域の詳細、担当科目・研究指導の内容については、『大学院案内 2027』をご覧ください。

専攻	担当者		研究領域
日本文化	教授	石井 龍太	琉球諸島の中近世考古学、地域キャラクターコンテンツ
	教授	漆澤 その子	日本の近現代における芸能社会史
	教授	黒岩 高	東洋史、中国ムスリムの社会史、文化史
	教授	戸塚 学	日本近現代文学
	教授	福田 武史	日本上代文学、比較文学、幼学書・古典学の影響
	教授	福原 敏男	日本民俗学、日本文化史、日本祭礼史、日本風流史
	教授	桃崎 有一郎	日本の古代・中世史
	教授	渡辺 直紀	韓国文学・文化、比較文学

社会学専攻

【博士前期課程】

1. 出願資格 一般入試と社会人入試があります。出願する入試の各項目を確認してください。

一般入試(専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース)

次の【A】および【B】【C】【D】の条件に該当する者。【A】は必須、【B】【C】【D】は該当する場合のみ。

【A】次のいずれかに該当する者、又は 2027 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1)大学を卒業した者
- (2)大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3)外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5)日本国内において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6)外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7)専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8)文部科学大臣の指定した者
- (9)本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者

※出願資格(9)に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、必要書類をそろえて、入学資格審査の申請を行ってください。

必要書類:①入学志願票(A票)(写し)、②志望理由書(写し)、③最終出身学校の卒業証明書および④最終出身学校の成績証明書、⑤日本語能力を証明する書類。*③④は日本語又は英語で作成されたものとする。それ以外の言語の場合は、翻訳文(日本語又は英語)を添付すること。

申請期日:2026 年 11 月 12 日(木)郵送必着

【B】日本語を母語としない者が出願する場合、以下のいずれかの条件を満たすこと。

- (1)日本語能力試験N1合格者【日本国際教育支援協会または国際交流基金実施】
- (2)日本留学試験「日本語」科目の合計点(「記述」を除く)が 260 点以上【日本学生支援機構実施】
- (3)J.Test 実用日本語検定(A-C レベル)700 点以上の者【日本語検定協会実施】
- (4)日本語を母語としないが、上記試験によらず十分な日本語能力を有する場合は、それがわかる資料等を提出すること(例:日本の大学学部の成績証明書及び卒業証明書)。
- (5)特定の担当指導教授*のもと、英語で修士論文/特定課題研究を執筆することを出願時に希望する場合、事前相談の上、「4 技能すべてにおいて IELTS(Academic)6.0 相当の合格証書、スコア証明書」および「日本語能力試験 N2(CEFR レベル B2_112 点以上)合格証書、スコア証明書」を提出すること。

***担当指導教授**:アンジェロ・イシ、垂見 裕子

【C】専門研究コースに出願する者は、以下の英語・ドイツ語・フランス語のいずれかの外国語資格・検定試験のスコアを提出できること。

英語資格・検定試験の名称	備考
ケンブリッジ英語検定	Linguaskill の場合、公開受検のスコアを有効とします。自宅受検のスコアは利用できません。
実用英語技能検定 CSE	受検した級に合格していない場合でも出願可能です。英検 S-CBT、英検 S-Interview も利用可能です。
GTEC	オフィシャルスコアに限ります。検定版、CBT タイプが利用可能です。
IELTS	オーバーオール・バンド・スコア(アカデミック・モジュールに限ります。)
TEAP	
TOEFL iBT®	団体受験のスコア及び TOEFL iBT® Home Edition は利用できません。Test Date スコアのみ利用可能です。My Best™スコアは利用できません。
TOEIC® L&R/S&W	IP テストのスコアは利用できません。

※いずれの試験においても 4 技能合計のスコアです。

※異なる実施回の4技能のスコアを組み合わせることはできません。ただし、TOEIC® は L&R と S&W の実施回が異なっても構いません(L と R、S と W は、同一実施回のスコアを提出してください)。また、実用英語技能検定の一次試験免除者は、二次試験受験時に使用した一次試験受験回のスコアと二次試験のスコアの組合せを認めます。

ドイツ語資格・検定試験の名称	フランス語資格・検定試験の名称
ドイツ語技能検定試験、ゲーテ・ドイツ語検定試験、オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験	実用フランス語技能検定試験、DELF・DALF、TCF、TEF

【D】キャリアアップコースに出願する者は、プログラムごとに指定された下記の要件を満たすこと

プログラムの名称	要件
教員能力開発プログラム	教員免許状(第一種)を有していること、または学部卒業時に取得予定であることが望まれます。
学芸員研究能力開発プログラム	学芸員資格を有していること、または学部卒業時に取得予定であることが望まれます。
専門社会調査士資格取得プログラム	社会調査士資格を有していること、または学部卒業時に取得予定であることが望まれます。

社会人入試(専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース)

次の【A】および【B】【C】の条件に該当する者。【A】は必須、【B】【C】は該当する場合のみ。

【A】大学卒業後2年以上経過した者(2025年3月31日以前に卒業した者)

【B】日本語を母語としない者が出願する場合、以下のいずれかの条件を満たすこと。

- (1)日本語能力試験N1合格者【日本国際教育支援協会または国際交流基金実施】
- (2)日本留学試験「日本語」科目の合計点(「記述」を除く)が260点以上【日本学生支援機構実施】
- (3)J.Test 実用日本語検定(A-C レベル)700点以上の者【日本語検定協会実施】
- (4)日本語を母語としないが、上記試験によらず十分な日本語能力を有する場合は、それがわかる資料等を提出すること
(例:日本の大学学部の成績証明書及び卒業証明書)。
- (5)特定の担当指導教授*のもと、英語で修士論文/特定課題研究を執筆することを出願時に希望する場合、事前相談の上、「4 技能すべてにおいて IELTS(Academic)6.0 相当の合格証書、スコア証明書」および「日本語能力試験 N2(CEFR レベル B2_112 点以上)合格証書、スコア証明書」を提出すること。

***担当指導教授**:アンジェロ・イシ、垂見 裕子

【C】キャリアアップコースに出願する者は、プログラムごとに指定された下記の要件を満たすこと。

プログラムの名称	要件
教員能力開発プログラム	教員免許状(第一種)を有していること、または大学院入学までに取得予定であることが望まれます。
学芸員研究能力開発プログラム	学芸員資格を有していること、または大学院入学までに取得予定であることが望まれます。
専門社会調査士資格取得プログラム	社会調査士資格を有していること、または大学院入学まで取得予定であることが望まれます。

2. 出願手続

(1)出願書類

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類(本学所定用紙)」をダウンロードしてください。
- ・日本語又は英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。
- ・長期履修学生制度・早期修了制度を希望する志願者は、後述の【各研究科共通事項】にある各制度に関する内容をご覧ください。
- ・入学志願票(A 票)の「希望指導教授」欄には「研究指導教授」一覧を参照し、入学後に希望する研究指導教授を第二希望まで記入してください(第二希望は空欄でも可)。なお、指導教授の希望について、以下の点にご注意ください。
- ・日本語を母語としない者で、特定の担当指導教授*のもと、英語で修士論文/特定課題研究を執筆することを出願時に希望する場合は、事前相談(問合せ先:アドミッションセンター)のうえ、**英語資格や特定の出願書類が必要です**。出願資格欄【B】(5)及び後述の出願書類欄を確認してください。
- ・***担当指導教授**:アンジェロ・イシ、垂見 裕子
- ・キャリアアップコース学芸員研究能力開発プログラムおよび専門社会調査士資格取得プログラムを希望する場合の指導教授については、事前にアドミッションセンターにお問い合わせください。

(2)出願書類の郵送方法

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類提出用宛先シート」をダウンロードしてください。
- ・市販の角形 2 号封筒に必要な書類を入れ、「出願書類提出用宛先シート」を封筒に貼付けし、出願期間内に郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送してください。

出願書類一覧

【一般入試】【社会人入試】共通

	出願書類等	摘 要
①	入学志願票(A票) 対照票(B票) 受験票(C票)	<ul style="list-style-type: none"> ・【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。 ・顔写真(カラー)のサイズは縦4cm×横3cmとし、出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身・脱帽・無背景のもの(アプリ等での加工・修正不可、試験当日に本人確認ができるもの)に限ります。写真の裏面に氏名を明記のうえ、貼り付けてください。 ・希望指導教授は、後述の「研究指導教授」一覧を参照し記入してください。 ・現住所、連絡先は、すべて日本国内の住所、電話番号を記入してください。 ・入学志願票(A票)の学歴・職歴欄が足りない場合は、別紙(書式自由)に続けて記入してください。
②	成績証明書	出身大学で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
③	卒業証明書又は卒業見込証明書	出身大学で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
④	卒業論文又はそれに準ずるもの(制作物、研究レポート等)の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された卒業論文等の写しは返却しません。 ・原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。 ※卒業論文に準ずるものの対象についての詳細はアドミッションセンターへご連絡ください。
⑤	志望理由書	・【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。
⑥	研究計画書	研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を2,000字程度で作成してください。A4判(書式自由)で片面印刷してください。
⑦	市区町村発行の住民票の写し(コピー不可)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の者のみ提出してください。 ・在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前3ヶ月以内に発行されたもの(本人のもの)を提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・受験の為、短期ビザ等で来日している場合は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
⑧	宛名カード	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・4ヶ所とも同じ住所を記入してください(日本国内の住所に限ります)。

【一般入試】【社会人入試】日本語を母語としない者は、以下の書類を提出してください。

※ただし、特定の担当指導教授のもと、英語で修士論文/特定課題研究を執筆することを出願時に希望する場合を除く

⑨	日本語能力試験等の合格証書、スコア証明書等の写し	出願資格【B】(1)～(4)に記載されたもの
---	--------------------------	------------------------

【一般入試】【社会人入試】

日本語を母語としない者で、特定の担当指導教授*のもと、英語で修士論文/特定課題研究を執筆することを出願時に希望する場合、事前相談のうえ、④⑤⑥⑨の書類を以下に代えて提出して下さい。

***担当指導教授**: アンジェロ・イシ、垂見 裕子

④	卒業論文又はそれに準ずるもの(制作物、研究レポート等)の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された卒業論文等の写しは返却しません。 ・原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。 ・英語以外で執筆している場合は英語で要旨(300words)を添付してください。
⑤	志望理由書	【本研究科所定用紙】を使用し、英語で作成してください。
⑥	研究計画書	研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を英語(400 words)で作成してください。A4判(書式自由)で片面印刷してください。
⑨	英語資格・検定試験の合格証書、スコア証明書等の写し	4技能すべてにおいてIELTS(Academic)6.0以上に相当するスコア証明書
	日本語能力試験の合格証書、スコア証明書の写し	日本語能力試験N2(CEFRレベルB2_112点以上)合格証書、スコア証明書

【一般入試】専門研究コースに出願する者は、以下の書類を提出してください。

⑨	外国語資格・検定試験の合格証書、スコア証明書等の写し	出願資格【C】に記載された外国語資格・検定試験のスコア証明書
---	----------------------------	--------------------------------

【一般入試】【社会人入試】キャリアアップコースに出願する者は、以下の書類を提出してください。

⑩	資格証明書の写し	出願するプログラムの資格証明書
---	----------	-----------------

3. 学力検査等の内容

- ・ 出願書類にもとづく書類審査に加え以下の試験により選考します。辞書・事典類の持ち込み・使用を認めません。
- ・ 日本語を母語としない者で、特定の担当指導教授(アンジェロ・イシ、垂見 裕子)のもと、英語で修士論文/特定課題研究を執筆することを
出願時に希望する場合、筆記試験は英語での解答を認めます。口述試験は主に日本語で実施します。

【一般入試】専門研究コース

筆記試験	専門科目 9:00 ~ 11:00	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
	外国語科目 (試験は実施しません)	本研究科が指定する外国語資格・検定試験のスコアを、本研究科が定めた基準により得点化します。
口述試験	13:30~	志望専攻に関連した内容について出題します。主に日本語で実施します。

【一般入試】キャリアアップコース、生涯学習コース

【社会人入試】専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース

筆記試験	専門科目 9:00 ~ 11:00	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
	小論文 11:20 ~ 12:10	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。
口述試験	13:30~	志望専攻に関連した内容について出題します。主に日本語で実施します。

4. 合否判定の方法及び基準

各コースにおいて、出願書類にもとづく書類審査、筆記試験及び口述試験について、以下の比率で評価を行い、総合的に合否を判定します。

一般入試【専門研究コース】

書類審査	成績証明書、卒業証明書(見込含む)、卒業論文またはそれに準ずるもの、志望理由書、研究計画書:10% 外国語資格・検定試験のスコア:20%
筆記試験、口述試験	筆記試験:30%、口述試験:40%

【一般入試】キャリアアップコース、生涯学習コース

【社会人入試】専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コース

書類審査	成績証明書、卒業証明書(見込含む)、卒業論文またはそれに準ずるもの、志望理由書、研究計画書:10%
筆記試験、口述試験	筆記試験:40%、口述試験:50%

5. 合否通知

受験者全員に郵便で本人宛に発送します。発送日より3日経過しても届かない場合は、アドミッションセンターへ問い合わせてください。
なお、電話・メール等での選考結果の照会には応じられません。

6. 研究指導教授

(1)入学志願票(A票)の「希望指導教授」として選べる教員は以下のとおりです。ただし、2027年度に担当できない場合もあります。
(2)教員の研究領域の詳細、担当科目・研究指導の内容については、『大学院案内 2027』をご覧ください。

専攻	担当者		研究領域
社会学	教授	安藤 丈将	政治社会学
	教授	アンジェロ・イシ*	移民研究、エスニシティのメディア社会学
	教授	大屋 幸恵	アート・ビジュアルカルチャーの社会学、記号論、消費社会論
	教授	奥村 信幸	ジャーナリズム、メディアと政治、デジタル・ジャーナリズム
	教授	菊地 英明	福祉社会学、社会保障論
	教授	庄司 昌彦	情報社会学・情報通信政策(情報化が政府、企業、市民社会、文化等に与える影響、行政や地域社会のDX、国際比較など)
	教授	千田 有紀	現代社会論、ジェンダー、家族、社会理論など
	教授	種村 菜奈枝	公衆衛生学、規制科学
	教授	垂見 裕子*	教育社会学・比較教育学
	准教授	苫米地 なつ帆	計量社会学、社会階層論、家族社会学、教育社会学
	教授	内藤 暁子	オセアニア、および日本を中心とした文化人類学
	教授	中西 祐子	ジェンダーの社会学、教育社会学
	教授	林 雄亮	ジェンダー・セクシュアリティ、性教育、性行動に関する調査研究、社会的不平等・ライフコースに関する社会学的研究
	教授	人見 泰弘	国際社会学、移民・難民研究、グローバリゼーション
	准教授	牧野 遼作	相互行為分析・フィールド認知科学
	教授	松井 隆志	社会運動史(社会運動研究、歴史社会学)
	教授	南田 勝也	音楽社会学
	教授	矢田部 圭介	社会学理論
教授	林 玲美	人種・民族間関係論、質的調査方法	

*特定の担当指導教授(アンジェロ・イシ、垂見 裕子)は、日本語を母語としない者が、英語で修士論文/特定課題研究を執筆することを出願時に希望する場合に、事前相談のうえ申請することができる指導教授です。

※学芸員研究能力開発プログラム及び専門社会調査士資格取得プログラムに出願する場合は、指導教授について、アドミッションセンターにお問合せください。

※教員能力開発プログラム(専攻横断科目)に出願する場合は、入学志願票(A票)の「希望指導教授」欄へは以下の一覧から選択し記入してください。本プログラムの場合、原則として専攻の運営委員が副指導教授となります。

教員能力 開発プログラム (専攻横断科目)	担当者(教職課程教員)		研究領域
	教授	大内 裕和	教育社会学・教育制度論
教授	金井 香里	教育人類学、異文化間教育、教師教育学	

【博士後期課程】

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者、又は 2027 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、上記(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 大学等を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者

※出願資格(7)、(8)に該当し、個別の入学資格審査を希望する者は、必要書類をそろえて、入学資格審査の申請を行ってください。

必要書類: ①入学志願票(A票)(写し)、②志望理由書(写し)、③最終出身学校の卒業証明書および④最終出身学校の成績証明書、⑤日本語能力を証明する書類

*③④は日本語又は英語で作成されたものとする。それ以外の言語の場合は、翻訳文(日本語又は英語)を添付すること

申請期日: 2026 年 11 月 12 日(木) 郵送必着

2. 出願手続

(1) 出願書類

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類(本学所定用紙)」をダウンロードしてください。
- ・日本語又は英語で作成されたものとします。それ以外の言語の場合は、大使館や公証役場等で公証印を受けた翻訳文(日本語又は英語)を添付してください。
- ・入学志願票(A 票)の「希望指導教授」欄には「研究指導教授」一覧を参照し、入学後に希望する研究指導教授を第二希望まで記入してください(第二希望は空欄でも可)。

(2) 出願書類の郵送方法

- ・本学公式 Web サイトから「出願書類提出用宛先シート」をダウンロードしてください。
- ・市販の角形 2 号封筒に必要な書類を入れ、「出願書類提出用宛先シート」を封筒に貼付けし、出願期間内に郵便局の窓口から「簡易書留速達」で郵送してください。

出願書類一覧

	出願書類等	摘 要
①	入学志願票(A 票) 対照票(B 票) 受験票(C 票)	<ul style="list-style-type: none"> ・【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。 ・顔写真(カラー)のサイズは縦 4cm×横 3cm とし、出願前3ヶ月以内に撮影した正面上半身・脱帽・無背景のもの(アプリ等での加工・修正不可、試験当日に本人確認ができるもの)に限ります。写真の裏面に氏名を明記のうえ、貼り付けてください。 ・希望指導教授は、後述の「研究指導教授」一覧を参照し記入してください。 ・現住所、連絡先は、すべて日本国内の住所、電話番号を記入してください。 ・入学志願票(A票)の学歴・職歴欄が足りない場合は、別紙(書式自由)に続けて記入してください。
②	成績証明書	出身大学院で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
③	修了証明書又は修了見込証明書	出身大学院で作成したもの。なお、証明書は原本又は原本証明したものであること。
④	修士論文の写し又はそれに代わるものの写し	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された修士論文の写しは返却しません。 ・原本でも可。原本は試験終了後、本人に返還します。 ※修士論文に代わるものの詳細はアドミッションセンターへご連絡ください。
⑤	志望理由書	【本研究科所定用紙】を使用し、自筆で記入してください。
⑥	研究計画書	研究計画の詳細(研究課題、研究方法を含む)を 2,000 字程度で作成してください。A4判(書式自由)で片面印刷してください。
⑦	市区町村発行の住民票の写し(コピー不可)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の者のみ提出してください。 ・在留資格及び在留期間が記載されているもので、出願前3ヶ月以内に発行されたもの(本人のもの)のみを提出してください。マイナンバーが記載されたものは提出しないでください。 ・受験の為、短期ビザ等で来日している場合は、この書類に代えてパスポート、ビザの写しでも可。
⑧	宛名カード	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票送付時、選考結果通知時に使用するため、正確に記入してください。 ・4ヶ所とも同じ住所を記入してください(日本国内の住所に限ります)。

3. 学力検査等の内容

出願書類にもとづく書類審査及び試験(筆記試験・口述試験)により選考します。

筆記試験	専門科目 9:00 ~ 11:00	志望専攻に関連した内容が出題され、記述で解答します。 英和辞典1冊の持ち込み・使用を認めます。
口述試験	13:30~	志望専攻に関連した内容について出題します。日本語で実施します。

4. 合否判定の方法及び基準

出願書類にもとづく書類審査、筆記試験及び口述試験について、以下の比率で評価を行い、総合的に合否を判定します。

書類審査	成績証明書、修了証明書(見込含む)、修士論文またはそれに準ずるもの、志望理由書、研究計画書:30%
筆記試験、口述試験	筆記試験:30%、口述試験:40%

5. 合否通知

受験者全員に郵便で本人宛に発送します。発送日より3日経過しても届かない場合は、アドミッションセンターへ問い合わせてください。
なお、電話・メール等での選考結果の照会には応じられません。

6. 研究指導教授

- (1) 入学志願票(A票)の「希望指導教授」として選べる教員は以下のとおりです。ただし、2027年度に担当できない場合もあります。
(2) 教員の研究領域の詳細、担当科目・研究指導の内容については、『大学院案内 2027』をご覧ください。

専攻	担当者		研究領域
社会学	教授	アンジェロ・イシ	移民研究、エスニシティのメディア社会学
	教授	大屋 幸恵	アート・ビジュアルカルチャーの社会学、記号論、消費社会論
	教授	奥村 信幸	ジャーナリズム、メディアと政治、デジタル・ジャーナリズム
	教授	千田 有紀	現代社会論、ジェンダー、家族、社会理論など
	教授	垂見 裕子	教育社会学・比較教育学
	教授	内藤 暁子	オセアニア、および日本を中心とした文化人類学
	教授	中西 祐子	ジェンダーの社会学、教育社会学
	教授	林 雄亮	ジェンダー・セクシュアリティ、性教育、性行動に関する調査研究、社会的不平等・ライフコースに関する社会学的研究
	教授	人見 泰弘	国際社会学、移民・難民研究、グローバリゼーション
	教授	南田 勝也	音楽社会学

不正行為について

(1) 次のことをすると不正行為となります。

- ① カンニング(試験時間中に試験に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍等の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
- ② 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ③ 配付された問題用紙を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ④ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑥ 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。ただし、特別に指定されている場合を除く。
- ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。ただし、特別に指定されている場合を除く。
- ⑧ 解答終了の指示に従わず、筆記具を持っていたり、解答を続けたりすること。

(2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。

- ① 出願の際に本学に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があること。
- ② 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。ただし、特別に指定されている場合を除く。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利となるような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験会場において他の受験者の迷惑となるような行為をすること。
- ⑤ 試験室において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

(3) 不正行為の疑いがある場合、次の対応をとることがあります。なお、その際に要した試験時間の延長は行いません。

- ・試験監督者等が注意をする、または試験後に事情を聴くこと。
- ・試験中に使用を認められていない物品を預かること。
- ・別室での受験を求めること。

(4) 不正行為と認められた場合、次の対応をとることがあります。

- ・全ての試験を無効とします。なお、その場合に入学検定料は返還しません。
- ・当該年度に受験した本学の全ての入学試験の結果を無効とします。
- ・不正行為によって、試験実施に影響が出た場合等は、警察に被害届を提出することがあります。

各研究科共通事項

1. 入学手続期間

合格者宛に郵送する「入学手続要項」に従い、入学手続をしてください。入学手続は、第一次入学手続、第二次入学手続に分かれています。所定の期限までにそれぞれの手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものとします。

第一次入学手続	第二次入学手続
1. 入学金の納付 2. 入学手続書類郵送	1. 授業料等納付金の納付 2. 入学手続書類郵送
I期:2026年10月26日(月)~10月30日(金) II期:2027年2月24日(水)~3月3日(水) ※郵送は締切日当日消印有効(簡易書留)	I期・II期:2027年2月24日(水)~3月11日(木) ※郵送は締切日当日消印有効(簡易書留)

2. 2027年度 入学金及び授業料等納付金

授業料等納付金の納付は、「全納(春学期/秋学期)」あるいは「分納(春学期)」より選択できます。なお、分納の場合は、秋学期分の振込用紙を9月上旬に経理課より郵送いたします。

【博士前期課程】*武蔵大学卒業者は、入学金が免除されます。(単位:円)

項目		春学期	秋学期	年額
一次手続時	入学金	150,000		150,000
二次手続時	学費	授業料	260,000	520,000
		維持費	90,000	180,000
		計	350,000	700,000
	委託徴収会費(学会費)	2,500	2,500	
合計		352,500	350,000	702,500
初年度合計		502,500	350,000	852,500

【博士後期課程】*武蔵大学卒業者あるいは武蔵大学大学院博士前期課程(修士課程)修了者は、入学金が免除されます。(単位:円)

項目		春学期	秋学期	年額
一次手続時	入学金	150,000		150,000
二次手続時	学費	授業料	240,000	480,000
		維持費	90,000	180,000
		計	330,000	660,000
	委託徴収会費(学会費)	2,500	2,500	
合計		332,500	330,000	662,500
初年度合計		482,500	330,000	812,500

3. 長期履修学生制度

この制度は、職業を有している等の理由により標準修業年限で修了することが困難な学生を対象としています。標準修業年限(2年)を超えて一定の期間(3年又は4年)にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位を取得することができます。

対象者	経済学研究科/人文科学研究科 博士前期課程
年間授業料等	3年コースの場合は標準の学費等の 2/3 4年コースの場合は標準の学費等の 1/2
備考	<ul style="list-style-type: none"> 入学志願票(A票)の「長期履修学生制度申請欄」に申請理由を記入すること。 「在職証明書」又は「在職が確認できる書類、及び申請理由が在職以外である場合は、それを証明できる書類があることが望ましい。 長期履修学生の奨学金制度については本学学生生活課に問い合わせてください。(学生生活課Tel.03-5984-3722)

4. 早期修了制度

本学では、成績優秀者が1年で大学院博士前期課程(修士課程)を修了できる制度があります。

希望者は、入学後に教務課にて所定の手続を行う必要があります。条件は『大学院案内 2027』をご覧ください。

5. 受験及び修学における特別な配慮

病気・負傷や障害等のため、受験及び修学上で特別な配慮を必要とする方は、各出願受付開始日1ヶ月前までに武蔵大学ダイバーシティセンターへご連絡ください。

受験上の配慮申請について：<https://www.musashi.ac.jp/admissions/qualification.html>



6. 在留手続

本学への入学を許可された外国人学生は、在留資格「留学」を取得することができます。

(1)日本の在留資格を有していない場合

法務省出入国在留管理庁から「在留資格認定証明書」を取得し、これをパスポートとともに居住国の日本大使館又は領事館に提示して「留学」ビザ(査証)を取得してください。

ただし、本学では「在留資格認定証明書」の代理申請を行いません。本人又は代理人が手続を行ってください。「留学」の在留資格の取得には1~3か月ほど時間がかかりますので、ご注意ください。

(2)日本の在留資格を有している場合

①「留学」の在留資格を有している場合

在留期限に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。この申請は、在留期間満了日の3か月前から行うことができます。

②「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している場合

「定住者」、「家族滞在」等の在留資格を有している場合には、特に手続の必要はありません。ただし、留学生を対象とする奨学金は、在留資格「留学」の者を対象としています。在留資格の変更を希望する場合は、「在留資格変更許可申請」を行ってください。

③「短期滞在」の在留資格を有している場合

原則として一度国外へ出て、本学が発行する入学許可書(第二次手続完了後に発行)を使用し、「留学」の在留資格を申請する必要があります。「留学」の在留資格取得には1~3か月ほど時間がかかります。

*各在留手続に伴う必要書類として、入学許可書及び在留資格関連書類等の発行を希望する場合は、アドミッションセンターへご連絡ください。第二次入学手続完了後に発行しますので、入学手続を速やかに完了することを推奨します。

7. 院生研究費等の支給

武蔵大学大学院では研究活動を助成することを目的に、院生研究費を支給しています。

研究用図書、会費、学会・研究旅費、研究用コピー代を対象に年額 30,000 円が支給されます。

8. 入学辞退手続

第二次入学手続完了後、入学辞退を希望する場合は、本学所定の「入学辞退届(納付金返還願)」を、2027年3月31日(必着)までに、「簡易書留・速達」で郵送してください。入学金を除く「学費及び委託徴収会費」を返還いたします。ただし、提出された書類については返却いたしません。

9. 入学許可の取り消し

以下のいずれかに該当する場合は入学許可を取消します。

- (1)卒業見込み等で出願した者が、2027年3月31日までに卒業等ができなかった場合。
- (2)出願書類等に虚偽の記載事項があった場合。

10. その他

(1)電話・メール等での選考結果の照会には応じられません。

(2)その他不明な点については、下記へお問い合わせください。

<武蔵大学アドミッションセンター>

TEL : 03-5984-3715(平日 9時00分~16時40分)

メール: 本学公式 Web サイト「入試情報」のお問い合わせメールフォーム

住所 : 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

【個人情報取扱い】

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、願書受付、入学試験実施、合格者発表、入学手続及びこれらに付随する業務を行うために利用します。これらの業務の一部を、武蔵大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、委託先に対し、機密保持契約を結び必要かつ適切な管理を義務付けた上で、お知らせいただいた個人情報の必要な範囲を提供します。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、武蔵大学における入学者選抜及び教育改善のための調査の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

なお、出願書類については「学校法人根津育英会武蔵学園 個人情報保護規程」に基づき適切に管理いたします。

詳細は、下記武蔵大学公式 Web サイトの「武蔵学園における個人情報の取扱い」をご確認ください。

<https://www.musashigakuen.jp/privacypolicy.html>



アクセス

4 駅 3 路線が利用でき、アクセスも抜群です。

最寄り駅からのアクセス

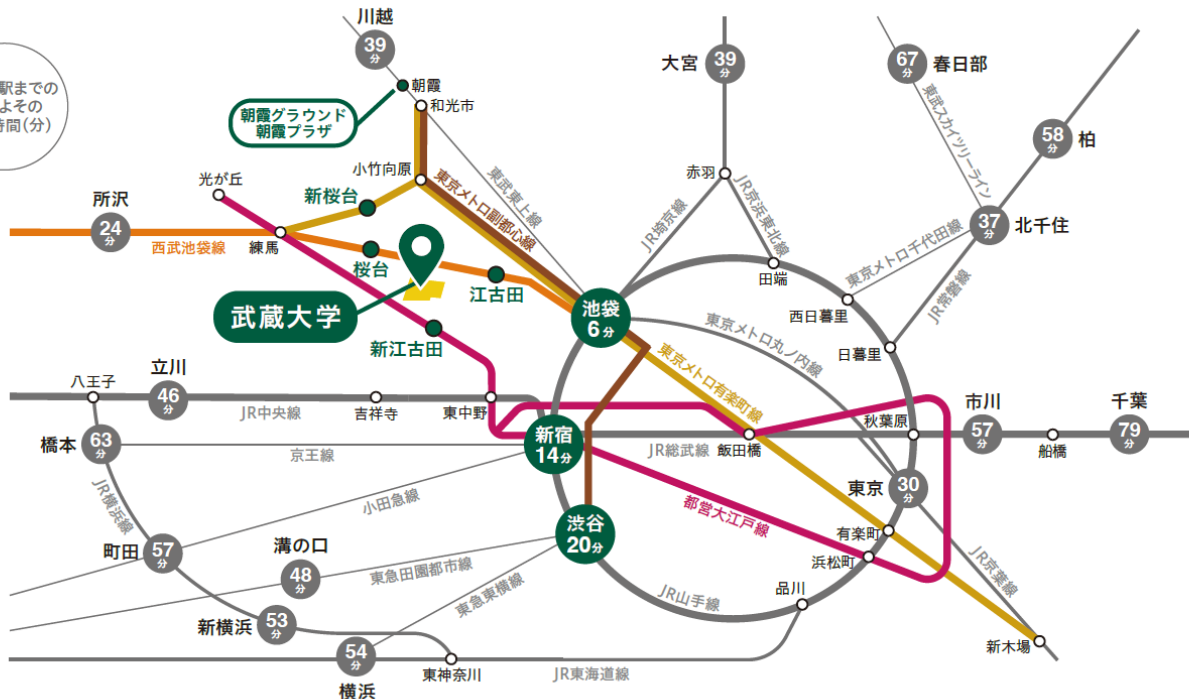


主要駅からのアクセス

駅	路線	所要時間	備考
池袋	西武池袋線	6分	江古田駅 ※各駅停車にお乗りください。
新宿	都営大江戸線	14分	新江古田駅
渋谷	東京メトロ副都心線	20分	新桜台駅 ※小竹向原駅から西武有楽町線となります。
有楽町	東京メトロ有楽町線	29分	
中野	関東バス (江古田駅行)	31分	江古田駅
高円寺	関東バス・国際興業バス (赤羽駅東口行・赤羽車庫行)	10分	豊玉北
目白	都営バス (練馬車庫行)	17分	武蔵大学前

※時間は乗車時間のみ。

最寄り駅までのおおよその所要時間(分)



※●部分の時間表示は乗車時間のみ。●は特別快速や急行等を利用し、乗換え時間を含んだ目安。

武蔵大学アドミッションセンター

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1
Tel.03-5984-3715 FAX:03-5984-3874
www.musashi.ac.jp

